

プランクトン検鏡結果のお知らせ

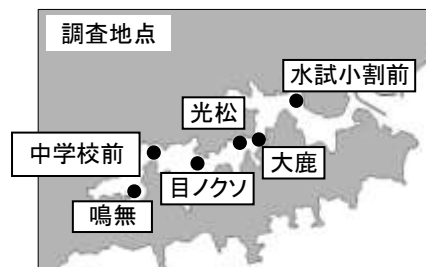
本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、無害種のプロロセントラム・ミニナムが増殖しており、海水の着色はこれによると考えられます。また、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で680cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で40cells/ml確認されました。
シャットネラ属は全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えています。
慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	プロロセントラム・ミニナム	珪藻類
中学校前 透明度:1.6m	0m	0	0	840	1,200
	2m	680	10	4,200	2,500
	5m	14	0	280	370
目ノクソ 透明度:1.6m	0m	4	0	9,700	2,800
	2m	330	40	6,000	1,800
	5m	9	0	450	100
光松 透明度:1.8m	0m	110	0	5,900	600
	2m	200	30	5,800	700
	5m	220	10	4,600	750
大鹿 透明度:1.6m	0m	2	1	8,100	400
	2m	620	30	5,200	950
	5m	21	1	1,000	750
水試小割前 透明度:1.6m	0m	5	0	4,200	600
	2m	110	20	5,400	650
	5m	0	0	500	50
鳴無 透明度:1.3m	0m	1	0	9,500	
	2m	300	10	3,800	
	5m	14	0	220	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ:
数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>